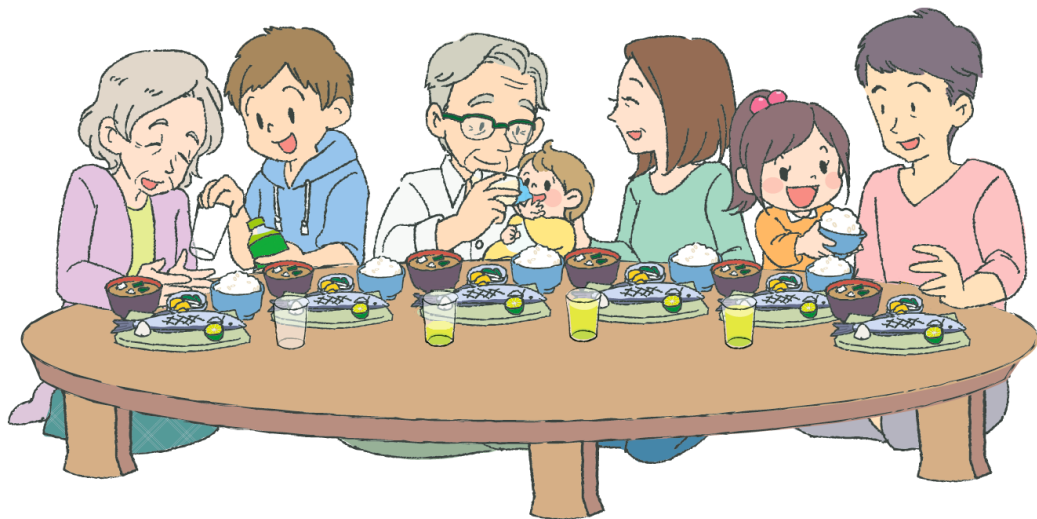


かめやまお茶の間10選(実践)

強化週間2022 集計結果



令和5年1月

亀山市社会教育委員会

亀山市教育委員会



目次

「かめやまお茶の間10選（実践）」強化週間2022の取組について	1
「かめやまお茶の間10選（実践）」振り返りカード	2
「かめやまお茶の間10選（実践）」強化週間アンケート	3
「かめやまお茶の間10選（実践）」強化週間2022集計	
○1学期	5
・回答者属性（年齢・学年）	
・問1：どのテーマに取り組みましたか	
・問2：取り組んで良かったことは何ですか	
○2学期	6
・問1：「かめやまお茶の間10選（実践）」に取り組みましたか	
・問2：どのテーマに取り組みましたか	
・問3：強化期間中、話題になったことはどんなことですか	
・問4：取り組んで良かったことは何ですか	
・問5：強化期間に取り組まなかったが、意識したテーマは？	
・問6：以下の①～③について、自由にお書きください（自由記述）	
①取り組んだ具体的な内容	
②強化期間中のお子様の様子	
③「家族っていいな。」と感じる時	
「かめやまお茶の間10選（実践）」強化週間2022 振り返りカード、アンケート集計 まとめ	13

「かめやまお茶の間10選（実践）」強化週間2022の取組について

【取組の背景】

亀山市社会教育委員会では、令和元年6月に「かめやまお茶の間10選（実践）」を策定し、これまで、子育て家庭を中心に、幅広く啓発活動を行ってきました。

令和2年度、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外出を控え、自宅で過ごす時間が長くなり、家庭での過ごし方が益々重要となってきた機会を捉え、社会教育委員会では、「こういう時だからこそ、より意識して、家族みんなで『かめやまお茶の間10選（実践）』に取り組んでほしい」と、10月、初めて強化週間を設定し、「かめやまお茶の間10選（実践）」強化週間2020に取り組みました。強化週間後、抽出学年の保護者を対象に実施したアンケートでは、全部で1400枚の回答が集まりました。

また、令和3年度は、令和2年度の実績を踏まえ、各園・学校の行事や取組に合わせ、1学期にも強化週間を設定し、振り返りカードにも回答いただきました。さらに、2学期は、紙媒体ではなく、URLやQRコードからアンケートに回答していただきました。その結果、1・2学期とも、1400を超える回答が寄せられ、一定の成果をあげることができました。

【取組の目的】

令和2年度と令和3年度の実績を踏まえ、強化週間の取組を継続することにより、「かめやまお茶の間10選（実践）」のさらなる浸透と定着を図る。そのことにより、各家庭で、改めて家族みんなで「かめやまお茶の間10選（実践）」をより意識しながら、家族の時間を大切にしたい一週間を過ごしていただく。また、アンケート結果を令和2、3年度と比較検証しながら、保護者の意識の推移や実践内容の傾向等を把握し、今後の取組に生かしていく。

【取組期間】

- ・1学期：4～7月 各園・学校が設定した1週間
- ・2学期：10月15日（土）～10月21日（金）の1週間 市内一斉

【振り返りカード、アンケート依頼対象者】

1・2学期共、各幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校の全保護者

【振り返りカード、アンケートの実施方法】

- ・1学期：「振り返りカード」（質問は2問）
 - ・2学期：アンケート（質問は6問、自由記述あり）
- 1・2学期共、強化週間終了に合わせ、各園・学校から、URLをメール配信又はQRコードが記載された文書を配付。保護者は、URL又はQRコードから回答する。

【振り返りカード、アンケート回収数（率）】

- ・1学期：1435（29.6%）振り返りカード
- ・2学期：1551（32.0%）アンケート

<おうちの方へ>

「かめやまお茶の間10選（実践）」振り返りカード

() 園・校 年長・() 年
お子様の名前 ()

○強化期間中に取り組んだことに○を付けてください。

1. あいさつは家族をつなぐ愛言葉
2. 豊かな体験 豊かな心 家族で経験
3. 夢への一歩 家族の力
4. テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん
5. つくって守ろう 家族のきまり
6. 本開く ところを紡ぐ この出会い
7. しっかり食べて つくろうカラダ
8. 家族でつくろう ハッピーリズム
9. 支えあう家族 尊い家族
10. お茶の間で伝えよう 感謝の気持ち

○取り組んでよかったことは何ですか。（当てはまるものに○を付けてください）

1. あいさつが増えた
2. 家族との会話が増えた
3. 家族と一緒にいる時間が増えた
4. 運動する時間が増えた
5. きまりが守れるようになった
6. 読書の時間が増えた
7. 規則正しい生活ができた
8. 好き嫌いせずに食事ができた
9. その他()

あいさつは 家族をつなぐ愛言葉
おかえりが聞こえるだけで安心感
つたえよう いただきますとありがとう
いってきます 今日元気 ハイタッチ

つくって守ろう 家族のきまり
ケータイをいじってないで おはなししよう
夕食は テレビは消して みんな笑顔
約束は みんなが決めて 守るもの

お茶の間で 伝えよう 感謝の気持ち
ありがとう 感謝の気持ち 伝えよう

家族でつくろう ハッピーリズム
早寝早起き朝ごはん朝うんち みんな元気
家族でつくる生活リズム 笑いと幸せが
朝食の匂いがみんなのアラーム

かめやまお茶の間10選（実践）

支えあう家族 尊い家族
毎日の キミの笑顔で 生きている
お茶の間で 見せたサイン、見つけてね
無事ねがう 行ってきます と孫の声

豊かな体験 豊かな心 家族で経験
遊びは親子の心を かよわせる
「友だち」と「遊び」に勝る学びなし
得られる喜び無限大
小さい時にたくさん
体験をする事が大切!

夢への一歩 家族の力
聞こう 子どものゆめ 話そう 親の夢
夢に向かって努力する
その姿こそ美しい
誉めて伸ばそうやる気と意欲

テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん
家ぞくは、いつでもおうえんだん
夕食は 今日の出來事 発表会
言わずに しっかり言える 関係性

本開く ところを紡ぐ この出会い
減るページ 君の心に 増える思い
一日の どこかで毎日 手に本を
未だ見ぬ世界が広がるよ
おやすみ前のどくしよ会

しっかり食べて つくろうカラダ
一食に 赤黄緑の 栄養素そろえよう
好き嫌いは 人間関係の狭さに
作り手の 想いを食べる お弁当

ご家庭の目立つところに貼りましょう

亀山市社会教育委員会・亀山市教育委員会

問5. (問1で、3または4と回答された方にお尋ねします)

(どちらかというと) 取り組まなかった(取り組めなかった)けれど、意識したテーマはありましたか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. あいさつは家族をつなぐ愛言葉 | 2. 豊かな体験 豊かな心 家族で経験 |
| 3. 夢への一歩 家族の力 | 4. テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん |
| 5. つくって守ろう 家族のきまり | 6. 本開く ころを紡ぐ この出会い |
| 7. しっかり食べて つくろうカラダ | 8. 家族でつくろう ハッピーリズム |
| 9. 支えあう家族 尊い家族 | 10. お茶の間に伝えよう 感謝の気持ち |

問6. (全ての方にお尋ねします)

以下の①～③について、自由にお書きください

①取り組んだ具体的な内容

(例)・「〇〇さん、行ってきます」とか「〇〇さん、ありがとう」というように、必ず最初に相手の名前を入れてあいさつした


・夕食の時、家族が順番に1日の出来事を話す時間を設けた

・毎日、読書タイムを設け、読んで印象に残ったことを話し合った

②強化期間中のお子様の様子

③「家族っていいな。」と感じる時

(具体的なエピソード等がありましたら、あわせてお書きください)



ご回答ありがとうございました。

このブラウザは閉じてください。

「かめやまお茶の間 10 選（実践）」強化週間 2022 集計

○ 1 学期（各園・小中学校が設定した 1 週間） ※振り返りカード回答数 1 4 3 5

回答者属性（年齢・学年）

	0・1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
回答者数	22	27	66	84	84	
比 率	7.8%	9.5%	23.3%	29.7%	29.7%	
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6
回答者数	111	118	114	132	147	163
比 率	14.1%	15.0%	14.5%	16.8%	18.7%	20.8%
	中 1	中 2	中 3			
回答者数	123	141	103	※比率（百分率）は、各学年・年齢の中での割合		
比 率	33.5%	38.4%	28.1%	合計すると、それぞれが100%になる。		

問 1：どのテーマに取り組みましたか。（複数回答可）※回答率は全回答数に対する比率

	あいさつは 家族をつなぐ 愛言葉	豊かな体験 豊かな心 家族で経験	夢への一歩 家族の力	テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん	つくって守ろう 家族のきまり
回答数	920	192	79	359	288
回答率	64.1%	13.4%	5.5%	25.0%	20.1%
	本開く こころを紡ぐ この出会い	しっかり食べて つくろうカラダ	家族でつくろう ハッピーリズム	支えあう家族 尊い家族	お茶の間で伝えよう 感謝の気持ち
回答数	245	703	267	217	228
回答率	17.1%	49.0%	18.6%	15.1%	15.9%

問 2：取り組んでよかったことは何ですか。（複数回答可）

	あいさつが増えた	家族との会話が 増えた	家族と一緒にいる 時間が増えた	運動する時間が 増えた	きまりが守れる ようになった
回答数	718	641	359	165	199
回答率	50.0%	44.7%	25.0%	11.5%	13.9%
	読書の時間が 増えた	規則正しい 生活ができた	好き嫌いせずに 食事ができた	その他	
回答数	228	353	356	65	
回答率	15.9%	24.6%	24.8%	4.5%	

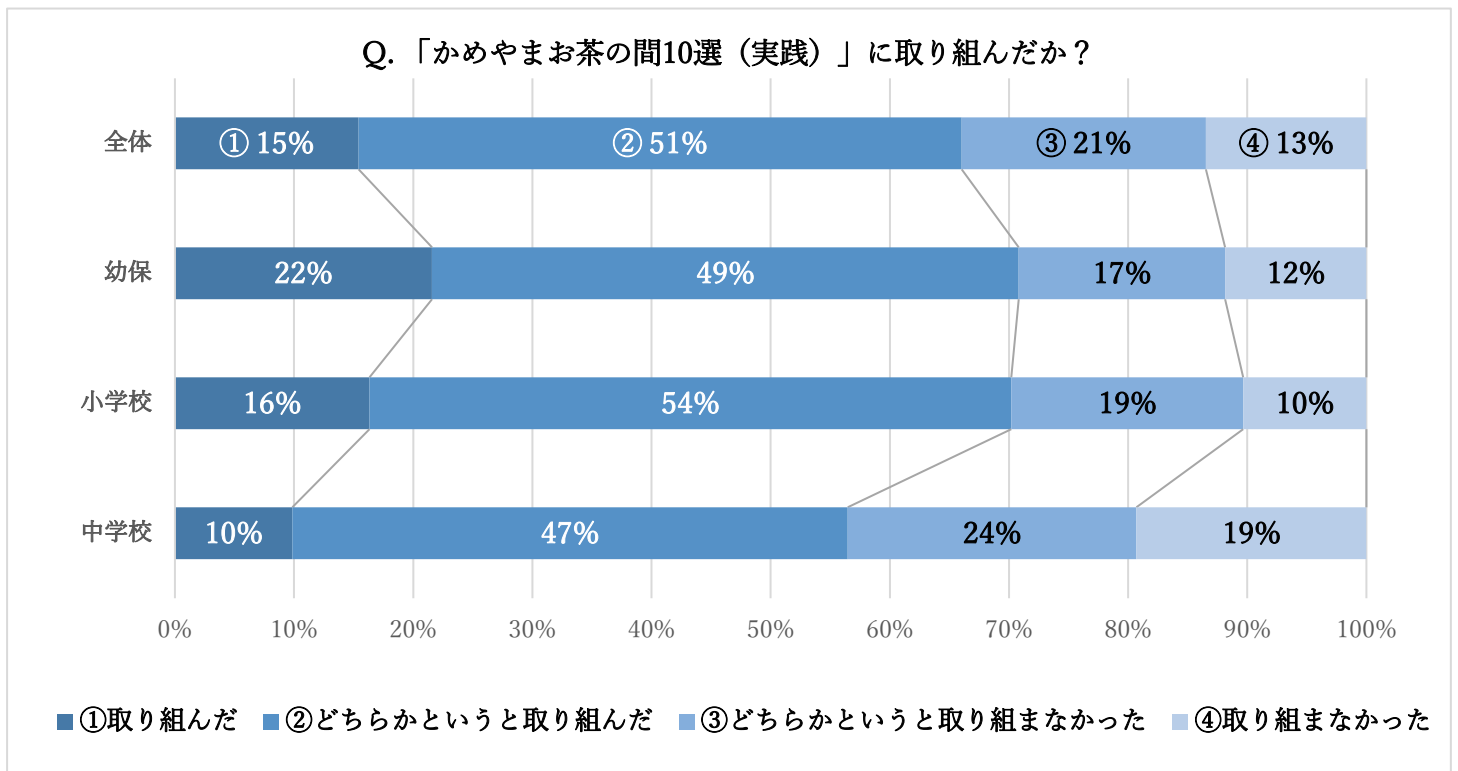
○2学期(10月15日～10月21日の一週間) ※アンケート回答数1551

回答者属性(年齢・学年)

幼稚園 保育園	学年	0-1歳児	2歳児	年少(3歳児)	年中(4歳児)	年長(5歳児)		合計
	回答者数	19	31	79	99	101		329
小学校	学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	合計
	回答者数	90	113	105	149	139	139	735
中学校	学年	中1年	中2年	中3年				合計
	回答者数	161	164	162				487

問1.「かめやまお茶の間10選(実践)」に取り組みましたか?

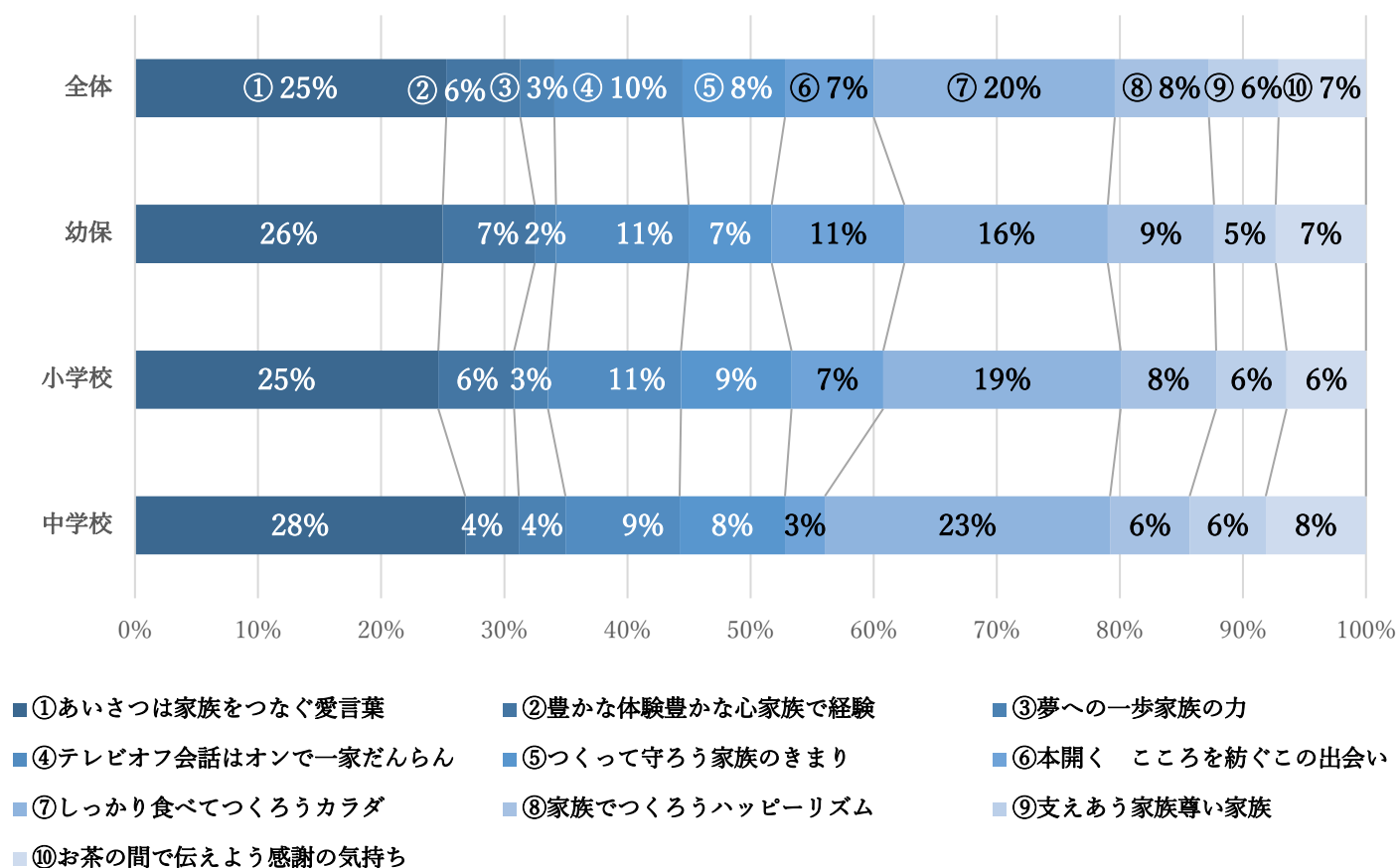
	全体	幼保	小学校	中学校
①取り組んだ	239	71	120	48
②どちらかというに取り組んだ	785	162	396	227
③どちらかというに取り組まなかった	318	57	143	118
④取り組まなかった	209	39	76	94
総回答数	1,551	329	735	487



問2. どのテーマに取り組みましたか？ (複数回答可)

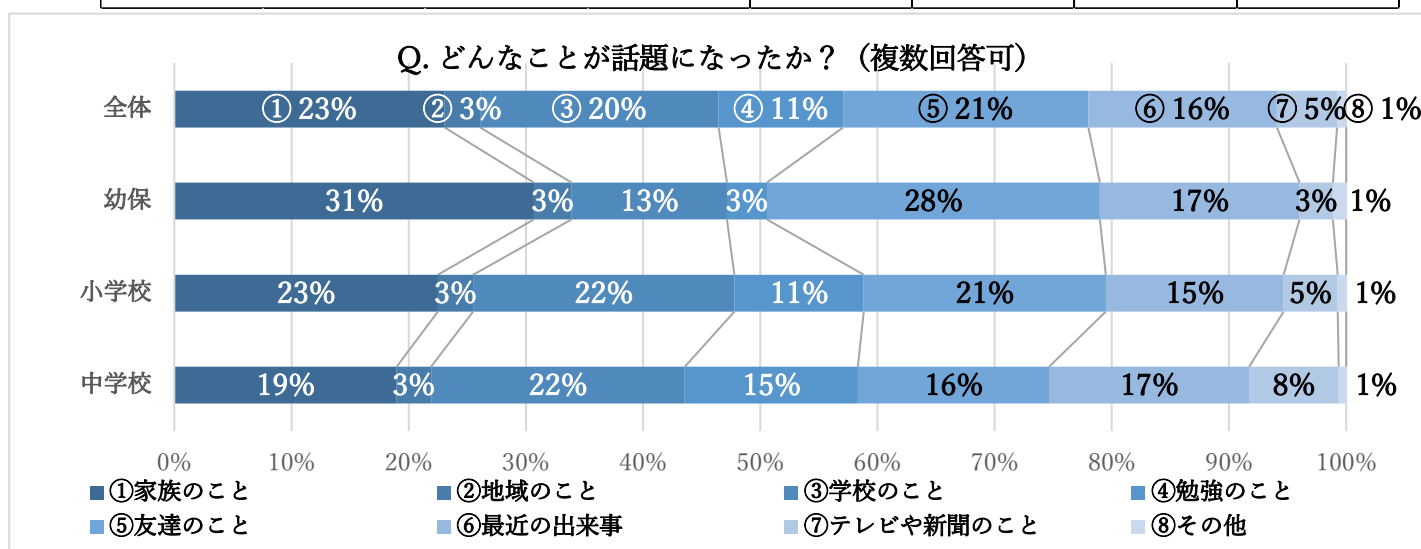
	全体	幼保	小学校	中学校
①あいさつは家族をつなぐ愛言葉	705	174	340	191
②豊かな体験豊かな心家族で経験	168	52	85	31
③夢への一歩家族の力	77	12	38	27
④テレビオフ会話はオンで一家だんらん	290	75	149	66
⑤つくって守ろう家族のきまり	232	47	124	61
⑥本開く ころを紡ぐこの出会い	201	75	103	23
⑦しっかり食べてつくろうカラダ	546	115	266	165
⑧家族でつくろうハッピーリズム	213	60	107	46
⑨支えあう家族尊い家族	158	35	79	44
⑩お茶の間に伝えよう感謝の気持ち	198	51	89	58
のべ回答数	2,788	696	1,380	712

Q. どのテーマに取り組んだか？ (複数回答可)



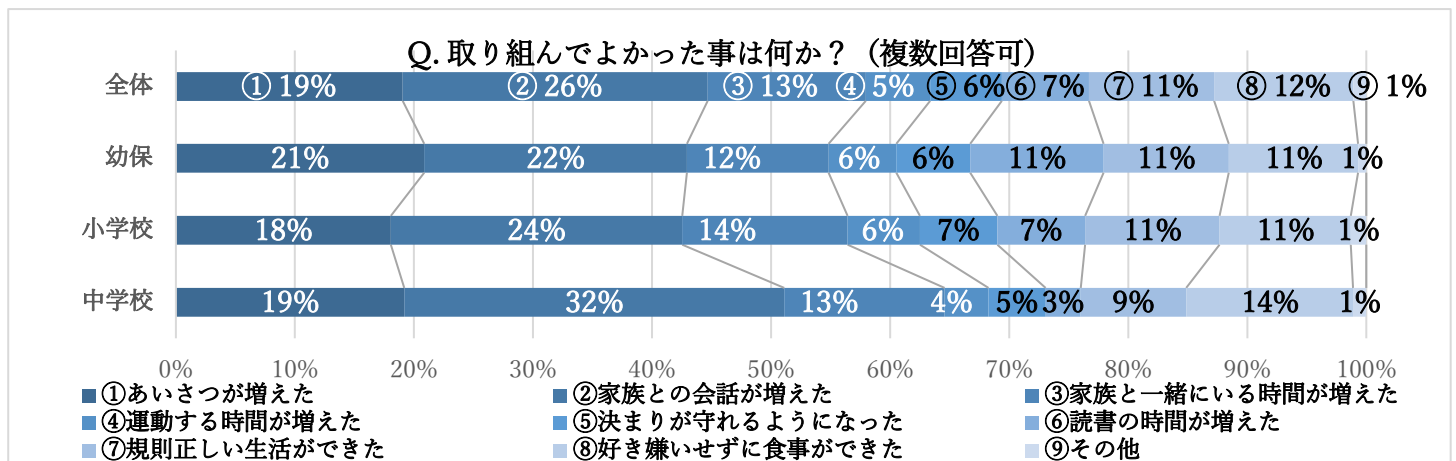
問3. 強化週間中、どんなことが話題になりましたか？ (複数回答可)

	全体	幼保	小学校	中学校
①家族のこと	627	162	316	149
②地域のこと	82	17	42	23
③学校のこと	553	70	313	170
④勉強のこと	289	18	155	116
⑤友達のこと	568	150	290	128
⑥最近の出来事	437	90	213	134
⑦テレビや新聞のこと	140	15	65	60
⑧その他	21	6	10	5
のべ回答数	2,717	528	1,404	785



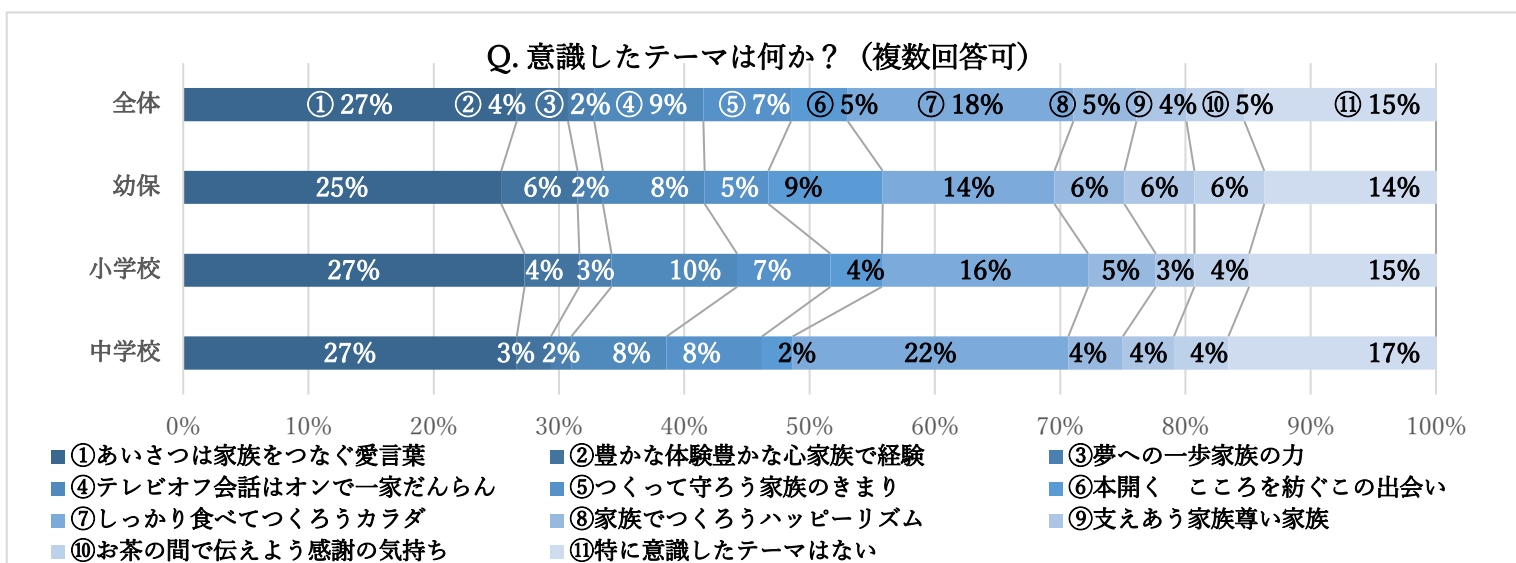
問4. 取り組んでよかった事は何ですか？ (複数回答可)

	全体	幼保	小学校	中学校
①あいさつが増えた	433	121	208	104
②家族との会話が増えた	583	128	282	173
③家族と一緒にいる時間が増えた	302	69	160	73
④運動する時間が増えた	123	33	70	20
⑤決まりが守れるようになった	137	36	75	26
⑥読書の時間が増えた	166	65	85	16
⑦規則正しい生活ができた	239	61	130	48
⑧好き嫌いせずに食事ができた	266	63	127	76
⑨その他	25	4	15	6
のべ回答数	2,274	580	1,152	542



問5. 強化週間に取組まなかったが、意識したテーマは？（複数回答可）

	全体	幼保	小学校	中学校
①あいさつは家族をつなぐ愛言葉	254	50	106	98
②豊かな体験豊かな心家族で経験	39	12	17	10
③夢への一歩家族の力	20	4	10	6
④テレビオフ会話はオンで一家だんらん	83	16	39	28
⑤つくって守ろう家族のきまり	67	10	29	28
⑥本開く ころを紡ぐこの出会い	43	18	16	9
⑦しっかり食べてつくろうカラダ	172	27	64	81
⑧家族でつくろうハッピーリズム	48	11	21	16
⑨支えあう家族尊い家族	38	11	12	15
⑩お茶の間に伝えよう感謝の気持ち	44	11	17	16
⑪特に意識したテーマはない	146	27	58	61
のべ回答数	954	197	389	368



問6. 以下の①～③について、自由にお書きください

<①取り組んだ内容、②強化週間中のお子様の様子、③「家族っていいな」と感じる時>

- ・家族との話し合いの時間を楽しみにしている。家族のルールも、子どもにも良く分かるようにしたので、ちゃんとルールを守ります。
- ・食が細いので、バランスも考えながら、好きなものや食べやすいものなどを意識して食事を準備した。今までは、朝食食べて行かないときもあったが、頑張っって少しでも食べて行くことができた。
- ・①期間中は、嫌いな物も頑張っって食べる！②ひとまず期間中だけは…と言う感じではあったけれど、出された物は食べるようにしていました。
- ・野菜の収穫を子どもと行い、調理した。
- ・③その日にあったそれぞれの出来事を、顔を合わせてその日のうちに伝えられるところ。家族と過ごせる時間は幸せです(^)
- ・相手に聞こえる大きさの声で挨拶をするように心がけた。「ありがとう」などの感謝の言葉も、はっきりと相手に伝わるように言うようにした。
- ・まずは親からしっかりあいさつをするようにした。あいさつの前にその子の名前を呼ぶ。
- ・毎日好きな本を選び、妹と一緒に楽しみながら読んだ。守れない日もあったが、起きる時間や寝る時間を自分で気にして行動する姿も見られた。良い時も悪い時も、気持ちを伝え合える存在がいることが、家族の素敵なところだと思う。
- ・食事中の会話が増えて、その日にあった出来事から保育園の様子がわかり、子どもの精神的な面の健康把握にも繋がった。
- ・子どもたちが生まれた時から、ずっと、生まれて来てくれた奇跡に感謝しなかったことはありません。感謝の気持ちって、やっぱりちゃんと言葉にしないと伝わらないですから、感じた時に素直に伝え合うようにしています。子どもたちも、まっすぐな気持ちを言葉にしてくれます。私自身が落ち込んで下を向きそうな時にも、家族の言葉に何度も何度も背中を押してもらっています。家族って本当に大切ですよね。
- ・今年から携帯を持ち始めましたが、時間を決めたり、食事中はTVを消したりするなどして、なるべくたくさん会話をするように心がけました。また季節の変わり目で体調を崩しやすいので、身体が暖まるような野菜や料理をバランスよく食べることに心がけました。この期間だけでなく、これからも続けていきたいと思います。
- ・①家族みんなと一緒にご飯を食べる日を大切に、会話を楽しんだ。②話を親に聞いてもらい共感してもらえることで安心感につながっている③生きる力になる。
- ・一歳の子どもの、カタコトですが、あいさつの言葉が喋れるようになりました。
- ・コロナ禍で運動不足だったこともあり、近所をランニングしたり、家で体幹トレーニングをしたりするなど、健康について家族で見直す時間ができた。
- ・テレビやゲームの約束事の見直しをした。子どもから新しい意見が聞けた。
- ・①以前から興味を持っていた本のシリーズ等を購入し、家族で読書する時間を増やした。②読書で得た知識をアウトプットすることで、自信に繋がっているように感じた。

皆さんからいただいた記述から抜粋しました！

- ・中3のため、将来について選択の時期なので、やってみたいことや夢について話す機会を増やしています。不安にならないよう、いつもの生活リズムでいつもと変わらず過ごせるようにしています。まだコロナの不安も続いているので、休日には家族でゆっくり過ごして気分転換できるようにしました。また、いつでも手に取れる場所に本を置くようにしました。タブレットばかりになりがちなので、本を読む機会を意識的につくるのが大切だと感じました。
- ・家族でアウトドアを通じて、季節の移り変わりを感じる事が出来た。野外活動は子どもの挑戦したい気持ちを大切にしたい。外で体を動かすことで、気持ちもリフレッシュできた。
- ・感謝を伝える時、「ありがとう」だけでなく、具体的に「〇〇をありがとう」と言うようにした。一層、その人に対する感謝の気持ちが深まった。言われた時は、やって良かったと嬉しくなった。
- ・①食事(朝・夕)の時、ダラダラとつけていたTVを消して、子どもたちの話や今日あった面白い話などをすることで、心も落ち着いて充実感が増した。②話をゆっくり聞いてもらえることで、満足していた気がする。こちらが聞いてほしい真面目な話にも、向き合ってくれてくれた気がする。③夜に寝顔を見ると、また一から頑張ろうと思うとき。
- ・①寝る前に絵本を子どもに読んだ。②①を続けていたら、子どもが読んでほしい絵本を持ってくるようになった。
- ・子どもの年齢が上がるにつれて、段々挨拶を言葉ではなく手でするようになっていましたが、久しぶりに子どもの声で挨拶が聞けました。ずーっと続いて欲しいです。
- ・①朝ごはんを毎日少しでも食べるように頑張って取り組んだ②最初はなかなかご飯も進まなかったけれど、日に日に自分から食べないと元気が出ないと言って、少しずつ毎日食べられるようになってきた③どんな些細な事でも、家族みんなで笑い合えること。
- ・毎日読書タイムを設けた。音楽室の写真にある作曲家の本を読み、音楽にも興味が出たみたいで良かったかなと思います。
- ・①「いただきます」と言ってから食事をするようにした。また、「嫌いなものでも一口は食べようね」と話して実践してもらった。食事の時は、テレビを消して話をしながら食事をするようにした。遅くても10時までは寝るようにした。②頑張っても嫌いなものも口に入れていたし、テレビを消すことで、食べこぼしもなく早く食事が終わった。規則正しく就寝することで、朝の用意もスムーズだった。③美味しそうに食事をしている様子を見ながら食べると、こちらも「頑張って料理して良かったな」と感じる事ができた。
- ・会話なくご飯を一人で食べるのと、会話しながら家族みんなで食べるのとは味が違うし、楽しいし、幸せだと感じました。
- ・妹の自転車の練習を兼ねて、本人も自転車に乗ってみんなで公園まで行きました。その間に出来なかった立ち漕ぎが出来るようになり、妹もだいぶ一人で乗れるようになりました。お互いに出来たことを認め合ったり、親や祖父母もみんなで子どもたちの頑張りを褒めたりして、体力的にはかなり疲れましたが、とても充実した家族での時間が過ごせました。
- ・今までは、「めあて」や「やくそく」を一人では決められなかったが、今回は全て一人で

決めること(考える事)が出来た。運動が得意ではありませんが、自分で決めた「めあて」を一生懸命守ろうとする点が、昨年よりも成長していると感じました。

- ゲームの時間を決め、時間が来たら勉強を始めていた。部活の試合で勝つため、ゲームをせず自主練をしていた。母親だけでなく、父親も見守ってアドバイスをした。
- まだ喋ることが出来ないけれど、親から子どもにしっかり話しかけた。
- たくさん遊んでくれたおじいちゃんが病気になっても、優しく労ってくれました。子どもの笑顔で、おじいちゃんの笑顔が増えました。
- フルタイムで毎日9時間仕事をしています。娘が洗濯物を取り入れてくれます。ご飯を炊いてくれます。家族みんなで協力しあって仕事を続けることができます。
- ③朝ご飯や昼ご飯の時間は家族が揃うことがなかなか難しいので、夜ご飯の時間に家族みんなが揃って「いただきます」をして、同じ物を同じ様に食べ、その日にあった出来事や思ったことなどを楽しそうに話している時。
- 一緒に本屋へ行き、読む本を選んだ。寝る前に読書タイムを設けた。苦手な野菜、納豆を毎日ひと口食べる挑戦をした。食わず嫌いだっただ納豆が食べられるようになった。
- 就寝時間が遅くなりがちでしたが、遅く寝ても必ず5:30起床を決め取り組むことで、夜間のダラダラした時間が少なくなり、就寝時刻が以前より早くなりました。我が家は、テレビを見ていなくてもつけっぱなしにすることが多かったのですが、オフにするという意識だけで、自然と静かに過ごせ、落ち着いて家族の会話に耳を傾けることが増えました。
- 図書館がお休みということもあり、家にある本を振り返って読み直しました。以前とは興味が変わっていたり、小さい頃に読んだので覚えていなかったりしているものもあり、楽しく読んでくれました。
- ①その日の出来事を一人一人聞くようにした。②先を争って話し、一家団欒を楽しめた。③会話が弾むと、普段からもちょっとした気遣いや優しい言葉かけが出来るようになっていいなと思った。
- 兄姉が高校生になり、平日休日ともにバラバラになる時間が増えましたが、一緒にご飯を食べて、会話をして過ごしています。日頃から、些細なことも親が聞くことを大事にしています。いろいろ言いたいこともあります。まずは聞いて受け入れることが、子どもたちも話しやすくなると思います。
- 仕事で疲れて帰ってきても、子どもたちが部活で頑張ったことや学校での様子を生き生きと話してくれると、それだけで元気を貰えます。時間に追われながら日々の生活を過ごす中で疲れて横になっている時、気がつく、主人や子どもが家事を負担してくれていて、言葉には出さなくても、私のことを気遣ってくれているんだなあ…と有り難い気持ちになります。そんな気持ちになった時は、もちろん「ありがとう」と言葉にして、感謝の気持ちを伝えるようにしています。
- 本を読むことが嫌いだっただ子どもが、読書にはまり始めました。市立図書館が休み中ということもあり、何冊も読むことはできなかったけれど、買った厚めの一冊をじっくり読むいいきっかけになりました。

「かめやまお茶の間10選（実践）」強化週間 2022

振り返りカード、アンケート集計 まとめ

【回答数（回答率）と取組傾向】

本年度も昨年度に引き続き、1学期と2学期の計2回、市内の幼稚園・保育園・認定こども園、小学校、中学校の全保護者を対象に実施しました。

1学期は、各園・学校が、自園・校の行事や取組に合わせて強化週間を設定し、実施直前に全保護者に依頼文書を配付すると共に、終了に合わせ、メール配信等で振り返りカードにアクセスするURLやQRコードをお知らせし、回答していただきました。回答数は1435、回答率は29.6%でした。用紙を配付し、各園・学校に提出していただいた昨年度の1学期と比べると、回答数は減ったものの、今回と同様の方法に変更した2学期よりは若干増えました。

また、多くの隣接する園と学校が連絡を取り合って、期間を揃えていただいたのが特徴的でした。回答結果では、全体的な傾向は昨年度と大きな違いは見受けられませんでした。多くの項目で回答率が下がりました。理由の一つとして、一人が付ける○の数が減ったことが挙げられます。昨年度は一人当たり約5.7個の○を付けられていましたが、今年度は約4.6個に減っています。ただ、裏返せば、多くの保護者が、それぞれの実情に合わせ、項目を絞って取り組まれたことの表れだとも考えられます。

2学期は、市内一斉（10/15～10/21）に強化週間を設定し、1学期同様、実施直前に全保護者に依頼文書を配付すると共に、終了に合わせ、メール配信等でアンケートにアクセスするURLやQRコードをお知らせし、回答していただきました。回答数は1551、回答率は31.5%と、どちらも昨年度を上回りました。一方、取組率（「取り組んだ」「どちらかというど取り組んだ」の回答を合わせた率）は66%で、昨年度を下回りましたが、取り組まれた方は回答されますが、取り組まれなかった方はあまり回答されないという傾向は続いています。

また、URLから回答する方法は、①いつでもどこでも回答できる、②遠慮なく、ありのままの思い・意見が書ける、③回収や集計の負担が大幅に軽減できる、④ペーパーレスにつながる等の利点が挙げられますので、今後も、回答率を高める工夫に努めながら、この方法を継続・改善していくことが望ましいと考えます。

【振り返りカード、アンケートの質問項目から】

○振り返りカード（1学期）

問1：どのテーマに取り組みましたか？（複数回答可）

- ・①「あいさつは家族をつなぐ愛言葉」（64.1%）と⑦「しっかり食べてつくろうカラダ」（49.0%）への取組が多く、これは昨年度と同じ傾向でした。一方、③「夢への一歩家族の力」は5.5%と低かったものの、他のテーマは、15.1%～25.0%と満遍なく取り組まれており、取り組みやすいテーマと取り組みにくいテーマが顕著になりました。

問2：取り組んでよかったことは何ですか？（複数回答可）

- ・①「あいさつが増えた」が50.0%と最も多く、以下「家族との会話が増えた」（44.7%）、「家族と一緒にいる時間が増えた」（25.0%）、「好き嫌いせずに食事ができた」（24.8%）、「規則正しい生活ができた」（24.6%）と続きました。

○アンケート（2学期）

- ・回答率は、中学校が最も高く（40.1%）、以下、小学校（33.7%）、幼稚園・保育園・認定こども園（21.4%）でした。

問1：「かめやまお茶の間10選（実践）」に取り組みましたか？

- ・①「取り組んだ」は、幼稚園・保育園・認定こども園が最も高く（21.6%）、④「取り組まなかった」は、中学校が最も高い回答率（19.3%）でした。②「どちらかという」と取り組んだ、③「どちらかという」と取り組まなかった」の回答率には、各グループ間で、大きなばらつきは見られませんでした。

※以下の回答率は、①「取り組んだ」、②「どちらかという」と取り組んだ」と回答した人(1024)に対する割合

問2：どのテーマに取り組みましたか？（複数回答可）

- ・全てのグループで、①「あいさつは家族をつなぐ合言葉」は65%を超え、⑦「しっかり食べてつくろうカラダ」も50%前後の高い回答率でした。
- ・③「夢への一歩 家族の力」は、全てのグループで10%以下の低い回答率でした。
- ・⑥「本開くところを紡ぐこの出会い」は、幼稚園・保育園・認定こども園は32.2%、小学校は20.0%でしたが、中学校では8.4%でした。これは、小さいお子さんをお持ちの保護者ほど、意識して読み聞かせに取り組んでいることの表れだと考えられます。

問3：強化期間中、話題になったことはどんなことですか？（複数回答可）

- ・①「家族のこと」、⑤「友だちのこと」は、幼稚園・保育園・認定こども園では、それぞれ69.5%、64.4%と最も高く、学年が上がるにつれ回答率は低くなっています。一方、④「勉強のこと」は、中学校で42.2%と最も高く、学年が下がるにつれ回答率は低くなっており、発達段階を反映したと思われる結果でした。
- ・②「地域のこと」は、全て10%未満と低い回答率でした。これまでと同様、コロナ禍の中、イベントが中止・縮小されたり、外出を控えたりしたことが要因の一つだと考えられます。

問4：取り組んで良かったことは何ですか？（複数回答可）

- ・②「家族との会話が増えた」は、全てのグループで一番高い回答率でした。特に中学校は、62.9%と、全体の約1/3を占めました。
- ・①「あいさつが増えた」も、全てのグループで35%を超える高い回答率でした。また、学年が下がるにつれ回答率は高くなっており、幼稚園・保育園・認定こども園では51.9%でした。

※以下の回答率は、③「どちらかというとなり組まなかった」、④「取り組まなかった」と回答した人(527)に対する割合

問5：強化週間に取り組まなかったが、意識したテーマは？（複数回答可）

・全体の回答数が少なかったものの、①「あいさつは家族をつなぐ愛言葉」は、全てのグループで45%を超える高い回答率でした。また、⑦「しっかり食べてつくろうカラダ」も25%を超えました。一方、⑩「特に意識したテーマはない」も、全てのグループで25%を超えました。これは、まだまだ「かめやまお茶の間10選（実践）」に対する関心の低い人が一定数みえるということを示しています。今回寄せられた心温まる実践例を、より多くの方に目にさせていただき取組を継続する等、今後も、機会を捉えて「かめやまお茶の間10選（実践）」の周知・定着に努めていく必要があります。

【アンケート：自由記述から】

問6：以下の①～③について、自由にお書きください

- ①取り組んだ具体的な内容 ②強化期間中のお子様の様子、
③「家族っていいな。」と感じる時

①取り組んだ内容では、「10選（実践）」全てのテーマに対して回答が寄せられました。特に、「まずは親からしっかりあいさつをするようにした。」や「食事中はテレビを消して会話をした。」等、「あいさつは家族をつなぐ愛言葉」と「テレビオフ会話はオンで一家だんらん」に関わる記述が多く寄せられました。

また、「子どもたちが、それぞれ習い事などで生活リズムが違い、共通して一緒に時間を過ごす事が少ないので、なるべく、一緒に居る時は好きな事などで共感できるように話題を振ったりして会話するようにした。」や「家族会議をするようになりました。みんなの意見を聞き、まとめるいい時間になりました。」等、家族がそろそろ時間を大切にしながら、互いの絆を深める取組をされている様子も寄せられました。

②お子様の様子では、「決めた約束などはきちんと守るようにしていた。」や「一緒に取り組むことで、それぞれの想いを共有でき、いきいきとしていた。」等、意識して取り組んでいる様子や家族みんなで取り組むことで、良い効果が現れている様子が伺えました。

また、子どもの様子を見て、「親が挨拶をしてから挨拶をするのが常だったが、親が言う前に挨拶をするようになった。」や「お手伝いを一生懸命してくれている姿に成長を感じました。」等、子どもの成長を実感したり、「子どもが、元気に楽しそうに学校へ通う姿を見ると、元気が出る。」や「残業で遅くなった時に、早く帰ってきた子どもたちが、洗濯物をたたんでくれたり、ご飯を炊いてくれたりと、家事の手伝いをしてくれて嬉しかった。」等、改めて子どもを見つめ直すことで、保護者自身の気づきにつながったりしたという記述も寄せられました。

③「家族っていいな。」と感じる時では、「困った事があつたりすると、姉妹で何とかしようと助け合う場面がありました。」「昨日までできなかったことができるようになった。」等、子どもの成長を感じた時や、「家族みんなで食卓をかこんだり、お出かけしたりしてる時。」「ちょっとした出来事で、家族みんなが笑っている時が楽しくていいなと思う。」

等、家族で楽しい時間を共有できた時を挙げられた記述が多く寄せられました。

また、「体調を崩した時などに互いに心配して助け合う時。」、私(母)が仕事で疲れていると、子どもと夫が家事の手伝いをしてくれます。」等、家族で助け合い、支え合っていると実感できた時や、「どんな時でも味方になって、支えてくれる安心感がある。」、「心が折れるような出来事があっても、家族がいるとホッと出来る。」等、家族の存在そのものを挙げられた記述も多く寄せられました。

【全体を通して】

1学期は、本年度も、各園・学校が、それぞれの行事や取組等に重ねたり連続させたりしながら期間を設定しましたので、より重層的・継続的な取組となりました。また、同じ中学校区の学校や多くの隣接する園・学校同士が、連絡を取り合いながら設定期間を揃えたことにより、子どもが別々の園や学校に通っていても、家族そろって一緒に取り組むことができ、効果的でした。

また、振り返りカードへの回答方法を、これまでの用紙を配付し、回答後、各園・学校に提出する方法から、各園・学校から配信されたメールに掲載されている URL、又は配付された文書に記載された QR コードから回答する方法に変更しました。このことにより、回収率は下がったものの、保護者は、いつでもどこでも手軽に回答できるうえ、提出する必要がなくなったことにより、園・学校にとっては、配付・回収等の負担が減ると共に、ペーパーレスにもつながりました。何より、回答は自動集計されるため、集計の手間が大幅に削減され、迅速にフィードバックできるようになりました。今後も、回答率を高める工夫に努めながら、より効率的で効果的な方法を模索していく必要があります。

2学期は、昨年度と同様、市内一斉に強化週間を設定しました。今年度は、1学期の強化週間実施時に、2学期の実施期間を予め保護者に案内すると共に、実施直前に改めて依頼文書を配付し、強化週間終了日に、各園・学校からメール配信や QR コードが記載された文書を配付していただきました。この結果、昨年度より、10%以上回答数が増えました。

ご回答いただいたアンケートでは、問2～問5まで、いずれも複数回答がほとんどで、本年度も、多くの保護者が、強化週間を意識しながら、積極的に取り組まれたことが推察できました。また、問1で、③「どちらかというとならなかった」、④「取り組まなかった」と回答された方も、問5で、意識したテーマを尋ねたところ、72.3%の方は、何らかのテーマを意識したと回答されており、強化週間の取組は、本年度も一定の成果をあげることができたと考えられます。

また、問6「以下の①～③について、自由にお書きください。」<①取り組んだ内容、②強化週間中のお子様の様子、③「家族っていいな」と感じる時>には、535人(34.5%)の方に記述していただき、多くの心温まるエピソードが寄せられました。

お取り組みいただいた保護者の皆様をはじめ、ご協力いただいた園・学校関係者の皆様に、心より深く感謝申し上げます。